

論 文 要 旨

2023年 1月10日

※報告番号	第	号	氏 名	大場 久恵
主論文題名				
「点・線・面」を活用した構成・構成要素の研究 -意図した印象表現のためのパラメーターの検討と提案-				
内容の要旨				
<p>本研究は、日本のデザイン教育で活用されてきた W・カンデンスキーの「点・線・面」の概念をもとにして、主としてグラフィックデザインの分野において、構成・構成要素と人が感じる感情の関係を検討したものである。</p> <p>具体的には「点・線・面」の概念に基づいた数、形、大きさ、コントラストなどのパラメーターを分析したうえで仮説を立て、適切な条件を設定し、それらの刺激に対する感情（印象）の変化を、多くの実験を通して検討した。</p> <p>感情の評価はラッセルの円環モデルの快・不快、覚醒・眠気の2軸をベースとして、必要に応じてその他の感情モデルをもとにした形容詞を用いて評価している。</p> <p>論文の結論では、実験を通して明らかとなった結果を整理し、円環モデルの4つの象限ごとにそれぞれの感情を誘起するためのガイドとなる「点・線・面」の表現方法の例を示した。</p> <p>これまで定性的に語られることが多かったデザイン教育において、各種パラメーターの数や大きさなどの定量的な指標を用いて、印象等を説明できるようになることを示しており、大きな成果である。本研究の成果は、教育現場等で活用できるガイドラインの制作や様々なデザイン教育へ活用できる。</p>				

※印欄記入不要